

## ISO9001品質マネジメントシステム審査認証

### 品質マネジメントシステムとは

品質マネジメントシステム(QMS)は、顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした製品・サービスを一貫して提供する能力を持つことへの実証や顧客満足を向上させるための仕組みです。国際的な第三者認証制度で、第三者の認証機関が組織のマネジメントシステムを審査し、適合した場合にその組織を認証します。当社は、1994年にオランダの認定機関(RvA)及び公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)より認証機関としての認定を受けております。

### QMS導入のメリット

品質マネジメントシステムを導入することにより、以下の効果が期待できます。

- 従業員の意識向上と職場の活性化
  - ・全員が参加することによる従業員のモラルアップ
  - ・QMS運用状況確認による職場の活性化
- 企業のイメージアップ
  - ・QMSの構築による経営者の姿勢の評価
  - ・第三者認証による企業の信頼性向上
  - ・営業活動や入札等への有利性
- 役割と責任の明確化
  - ・文書化による業務の標準化
  - ・職員の役割と権限の明確化
- 企業体質の改善・強化
  - ・PDCAサイクルの採用による企業体質の改善
  - ・問題把握、原因究明、問題解決、再発防止活動の定着による目標達成力強化
- 顧客満足の向上
  - ・PDCAのスパイラル効果による、製品やサービスの品質向上と顧客満足

### 当社の審査の特徴

1. 規格の適合性に軸足をおく厳正・適確な審査  
社会環境の変化に伴い、製品・サービス・プロセス等は常に変化します。長年認証を継続している組織でも、これらの変化への対応について、その適合性を審査することが必要です。
2. 組織の特性を考慮し有効性を重視する審査  
審査の結果は、単に適合の確認だけにとどまるのではなく、組織がISO規格に何を求めているかを尊重し、業界特性や組織文化、事業規模やシステムの成熟度など、組織の特性と個性に応じた審査をします。
3. 組織の運用実態を十分把握した審査  
現場審査を重視し、トップの方針が管理部門から現場まで一貫性を持って浸透しているかを検証し、組織の方々のモチベーションを意識した審査をします。
4. コミュニケーションを重視した対話型審査  
現場審査はもとより、審査の準備段階から結果報告まで、組織とのコミュニケーションにより、十分に納得いただける対話型審査を行います。こうした対話が“気づき”につながると考えています。
5. ステークホルダーの視点に立った審査  
ステークホルダーの視点に立ち、「誰のため」「何のため」に役立つシステムであるべきかを常に考えた審査を目指します。

※ PDCA サイクル  
Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)を繰り返すことによって、業務を継続的に改善すること。